

2学期 合唱コンクール

第1時の展開 見通し1 (事前指導：学級活動 1 / 4)

＜キャリア教育の視点＞ 具体的な要素：コミュニケーション・スキル、他者に働きかける力

- 1 **ねらい** 体育祭の反省を基に、合唱コンクールに向けた学級全体の行動目標を設定し、自己の役割を見付ける。
- 2 **準備** 教師：拡大紙1（体育祭の成果）、拡大紙2（体育祭の課題）、ワークシート①、付箋紙、発表用紙、ペン、『話合いのルール』、『司会の進め方』
生徒：体育祭振り返り用紙
- 3 **展開**

学習活動〔学習形態〕	時間	指導上の留意点及び支援・評価（◇評価）
〔学級全体〕 1. 本時の活動の確認を行う。	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動1、2は学級委員の司会で進行させ、必要に応じて補足説明する。学級委員とは事前に打ち合わせを行い、自信をもって進行させる。 ・学級委員に、合唱コンクールの学級スローガンとそこに込められた思いを発表させる。
〔学級全体〕 2. 体育祭における集団活動を振り返る。 ①成果を確認する。 ②課題を確認する。	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭での成果や課題を、合唱コンクールにつなげるようにしたい。 ・事前に書いた「体育祭振り返り用紙」への記載内容をまとめておき、拡大紙1、2で確認させる。 ・①については、担任から見た成果も伝えるようにする。 ・②については、個人的な批判とならないように注意する。
〔グループ〕 3. 体育祭の課題を踏まえ、合唱コンクールの学級スローガン達成のために必要な学級共通の具体的な行動を話し合う。 ①各自具体的な行動を考え、付箋紙に書く。 ②付箋紙を貼付シートに貼りながら意見を出し合う。 ③出し合った意見を整理する。 ◇活動時間の目安◇ ①、②、③各6～7分程度	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・司会を事前に決めておき、『司会の進め方』に沿って進行させる。 ・①については、最終目標ではなく、集団活動を行っていく際の具体的な行動を考えるように伝える。また、考える際は、『話合いのルール』の「意見のポイント」を参考にさせる。 ・自分の考えを付箋紙に書く時間を設け、一人一人が話合いに参加できるようにする。 ・付箋紙への記入の様子から、必要に応じて個別指導を行う。 ・②については、『話合いのルール』の「話合いの仕方」を参考にしながら、発表し合うようにさせる。 ・③については、付箋紙を動かしながら、同様の考えを分類するように指示する。 <p style="text-align: center;">◇よりよい集団活動にするための学級の行動を挙げている。 【思・判・実】（観察・ワークシート）</p>
〔学級全体〕 4. 各グループの考えを発表し合い、整理し、合唱コンクールに向けた学級行動目標を決める。	13分	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの考えを発表用紙に書き、黒板に掲示しながら発表させる。 ・『話合いのルール』の「意見の決め方・選び方」を参考にしながら、各グループの考えを整理し、学級行動目標を3～4個に絞らせる。
〔個人〕 5. 合唱コンクールに向けた集団活動における自己の役割を考える。	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールに向けた集団活動において、学級のためにどんなことができるか考えさせる。 ・必要に応じて、生徒の考えた役割を紹介し、考え方の例を示す。 <p style="text-align: center;">◇合唱コンクールに向けた集団活動における自己の役割を見付けている。【思・判・実】（観察・ワークシート）</p>

第2時の展開 **見通し2 (事中指導：学級活動 2 / 4)**

<キャリア教育の視点> 具体的な要素：コミュニケーション・スキル、チームワーク

- 1 **ねらい** 合唱コンクールに向けた集団活動の中で生じた課題に対して、その解決方法を考え、学級や個人の取組を見直す。
- 2 **準備** 教師：拡大紙（練習の成果）、ワークシート②、付箋紙、付箋紙貼付シート、発表用紙、ペン、『話し合いのルール』、『司会の進め方』
生徒：自己評価カード
- 3 **展開**

学習活動〔学習形態〕	時間	指導上の留意点及び支援・評価（◇評価）
<p>[学級全体]</p> <p>1. 本時の活動の確認を行う。</p> <p>[学級全体]</p> <p>2. 今までの練習を振り返り、よくなった点（成果）を確認する。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動1、2は学級委員の司会で進行させ、必要に応じて補足説明する。学級委員とは事前に打ち合わせを行い、自信をもって進行させる。 ・「自己評価カード」への記載内容をまとめておき、拡大紙で確認させる。 ・担当が気付いた成果も付け加える。
<p>[パートの小グループ]</p> <p>3. 今までの練習から見えてきたパートの課題について、その解決方法を話し合う。</p> <p>①各自解決方法を考え、付箋紙に書く。</p> <p>②付箋紙を貼付シートに貼りながら意見を出し合う。</p> <p>③出し合った意見を整理する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><活動時間の目安></p> <p>①、②、③各6～7分程度</p> </div>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの課題について話し合わせることで、よりよい合唱を創ろうとする気持ちを高めさせる。 ・パートの課題は、「自己評価カード」への記載内容や日常の練習の様子から実行委員が事前に選定し、提示する。 ・各グループに実行委員が必ず一人いるように編成し、『司会の進め方』に沿って進行させる。 ・①については、『話し合いのルール』の「意見のポイント」を参考にし、解決方法を考えさせる。 ・自分の考えを付箋紙に書く時間を設け、一人一人が話し合いに参加できるようにする。 ・付箋紙への記入の様子から、必要に応じて個別指導を行う。 ・②については、『話し合いのルール』の「話し合いの仕方」を参考にしながら、発表し合うようにさせる。 ・③については、付箋紙を動かしながら、同様の考えを分類するように指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>◇パートの課題に対する解決方法を見付けている。 【思・判・実】（観察・ワークシート）</p> </div>
<p>[パート全体]</p> <p>4. 各グループで考えた解決方法を持ち寄り、パートごとに取組を見直す。</p>	13分	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員に司会をさせ、『司会の進め方』に沿って進行させる。 ・各グループの考えを発表用紙に書き、提示しながら発表し合うようにさせる。 ・『話し合いのルール』の「意見の決め方・選び方」を参考にしながら、各グループの考えた解決方法を整理し、決めさせる。 ・パートごとに解決方法を決め、今後の練習の在り方について見通しをもたせたい。
<p>[個人]</p> <p>5. 合唱コンクールに向けて自己の取組を見直す。</p>	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の取組を振り返り、よりよい合唱にするために、どんなことができるか考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>◇今後の自己の取組を考えている。 【思・判・実】（観察・ワークシート）</p> </div>

第3時の展開 **見通し2 (事中指導：学級活動 3/4)**

<キャリア教育の視点> 具体的な要素：コミュニケーション・スキル、チームワーク

- 1 **ねらい** 前時に決めた解決方法を振り返り、合唱を仕上げるための作戦を考え、学級や個人の取組を見直す。
- 2 **準備** 教師：ビデオ機器、ワークシート③、付箋紙、付箋紙貼付シート、発表用紙、ペン、『話合いのルール』、『司会の進め方』
生徒：自己評価カード
- 3 **展開**

学習活動〔学習形態〕	時間	指導上の留意点及び支援・評価（◇評価）
〔学級全体〕 1. 本時の活動の確認を行う。 2. 学年リハーサルのビデオを視聴する。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の議題を掲示する。 ・コンクールでの採点基準を説明し、視聴する際のポイントを示す。 ・これまでの取組のよかった点を賞賛し、コンクールに向けて最後の見直しを行うように伝える。
〔パート全体（男子は2グループ）〕 3. 前時に決めたパートの解決方法を振り返る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・司会は実行委員に行わせ、『司会の進め方』に沿って進行させる。 ・各項目ごとに挙手で振り返るように伝える。
〔パート全体（男子は2グループ）〕 4. 合唱を仕上げるためのパートの最後の作戦を話し合う。 ①各自作戦を考え、付箋紙に書く。 ②付箋紙を貼付シートに貼りながら意見を出し合う。 ③出し合った考えを整理し、作戦を決める。	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・①については、学年リハーサルや前時に決めた解決方法の振り返りを踏まえて、合唱を仕上げるために、残り数日で「どんな点を改善していくか」「どんなことに取り組んでいくか」など、具体的に考えるように伝える。 ・②については、『話合いのルール』の「話合いの仕方」を参考にしながら、発表し合うようにさせる。 ・③については、付箋紙を動かしながら、同様の考えを分類し、『話合いのルール』の「意見の決め方・選び方」を参考にしながら決めさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇パートの作戦を見付けている。 【思・判・実】（観察・ワークシート） </div>
〔学級全体〕 5. 発表し合い、作戦を共有する。	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートで決めた内容を発表用紙に書き、黒板に掲示しながら発表させる。 ・各パートの発表を共感的に聞くとともに、合唱を仕上げるためには、すべてのパートの協力が大切であることを伝える。 ・よりよい合唱を創っていかうとする意識を高めるために、今までの取組を賞賛する。
〔個人〕 6. 合唱コンクールまでの自己の取組を見直す。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の感想を含め、合唱を仕上げるために、コンクールまでの数日間どんなことができるか考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇今後の自己の取組を考えている。 【思・判・実】（観察・ワークシート） </div>

第4時の展開 **見通し3 (事後指導：学級活動 4/4)**

<キャリア教育の視点> 具体的な要素：コミュニケーション・スキル、他者の個性を理解する力

- 1 **ねらい** 合唱コンクールにおける取組全体を振り返り、集団活動のよさに気づき、学校生活において、集団の向上のために進んでかかわろうとする。
- 2 **準備** 教師：ビデオ機器、拡大紙1 (合唱コンクールの成果)、拡大紙2 (体育祭の反省点)、ワークシート④
生徒：合唱コンクール振り返り用紙、自己評価カード

3 展開

学習活動〔学習形態〕	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◇評価)
〔学級全体〕 1. 本時の活動の確認を行う。	10分	・勝敗にかかわらず、素晴らしい合唱だったことを伝え、これまでの取組を賞賛する。
〔学級全体〕 2. コンクール当日のビデオを視聴する。		
〔学級全体〕 3. 合唱コンクールにおける集団活動を振り返る。 ①自分が変わった点を出し合う。 ②学級がよくなった点を出し合う。 ③「学級がよくなった理由」「一人一人が頑張った理由」を考える。 ----- ◇活動時間の目安◇ ①、②各10分程度 ③5分程度	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が意見交流に参加できるように、事前に「合唱コンクール振り返り用紙」に記入させておく (記載事項を拡大紙1にまとめておき、必要に応じて活用する)。 ・①については、「自分自身の気持ちや考え方の変化」を、②については「学級の様子や雰囲気の変化」を発表するように伝える。 ・生徒の意見については、共感的に聞くとともに、他の生徒にも投げかけ、個人や学級の成長を全体で確認させる。 ・体育祭の反省点 (拡大紙2) を再提示し、自分たちの成長を実感させる。 ・生徒の具体的な活躍例を紹介し、賞賛する。 ・③については、個人の成長 (頑張り) が学級の成長 (頑張り) に、また、学級の頑張りが個人の頑張りにつながっていることに気付かせ、集団活動のよさを実感させる。
〔個人〕 4. 合唱コンクールに向けた集団活動を振り返った感想を書く。	5分	◇集団活動のよさに気付いている。 【知・理】(観察・ワークシート)
〔学級全体〕 5. 日常の学校生活における課題を出し合う。	12分	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクール振り返り用紙への記載内容から、意図的に指名し、様々な意見を出させる。 ・出された課題に対して、他の生徒の考えを聞きながら、多様な意見を引き出すようにする。また、漠然とした課題に対しては、より具体的なものにしていく。 ・コンクールを通じた学級集団としての成長を確認しつつ、日常の集団活動の課題を出し合い、コンクール後の生活にも目的意識をもたせたい。
〔個人〕 6. 今後の学校生活での自己の取組について考える。	8分	◇集団の向上のために進んでかかわろうとしている。 【関・意・態】(ワークシート)